

## Restart

ああ 気がつけばひとりなにもない  
ただ過ぎ行く時間に身をまかせた  
机のひきだしに残る夢のあと  
書きかけの小説がひとつ

噂で聞いたよ がんばってる 君のこと そしたら

涙が急にこぼれて ぼくを包み込んでゆく  
懐かしさとくやしさが あとからあとからあふれだす  
いつかは同じ目の高さで 話をしたかった  
とどかない もうとどかない 夢は空へ消え去ってた

ああ 忘れてた思い出出す  
きみからの遠いメッセージ

心に重なる 君の姿 君の声 そしたら

何かが急に壊れて ぼくを強く揺さぶった  
涙はふいてこらえて 奥歯をぎゅぎゅっと噛みしめて  
いつかは胸を張って笑顔を見せられるように  
ゆっくり そうゆっくりと 一步ずつ歩き始めよう

ああ ひきだしを開けて取り出した  
書きかけの小説を胸に